

【観光・文化分野】 ~관광·문화분야~

韓国朝鮮語CoToはじめ

~Real-Life Korean Conversations~

일상 속 진짜 자연스러운 한국어 대화

本コースは、文字(ハングル)の読み書きができればどなたでも受講できます。

日時: 月曜日4限 6月7日、14日、21日、28日、7月5日
担当: 姜 信和先生

高景順先生(在外濟州人研究センター)、
李恩姫先生(啓明大学校)にご協力いただきました。

この講座では、韓国朝鮮語の実践的な会話練習を行い、日常生活におけるカジュアルで自然な表現を学習します。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、いまだに海外への渡航が自由に行えない状況が続いています。そのため本講座では、日本に関心を寄せている韓国の大学生たちとオンラインでつないで、実際に会話するコーナーを設けました。まずは自己紹介の練習から始めて、仲のいい友人同士で話す砕けた言い回しも楽しんでみましょう。

申込み方法: 直接iCoToBa受付で申し込み、または件名を「韓国朝鮮語講座申込」とし、
icotoba@for.aichi-pu.ac.jpへメールで申し込んでください。

※申込期限: 6月4日(金曜日) 17:00

[各回のテーマ]

- 第1回(6月7日) 自己紹介
- 第2回(6月14日) 趣味について語ろう
- 第3回(6月21日) 最近、どう? 元気してる?
- 第4回(6月28日) 今週の土曜、何してる?
- 第5回(7月5日) 第一回~第四回の総復習(~15:00)
韓国・啓明大学校の学生たちと実践練習(15:00~16:00)



姜 信和先生からのメッセージ

みなさん、まず日本を中心に据えた、見慣れた東アジア地域の地図を思い浮かべてみてください。それを180度くるっと廻してみると、朝鮮半島から見て海の向こうに長く大きく横たわる、また別の日本列島の姿が見えてくるはずです。そう、私たちは対岸に位置する、たいへん隣接(neighbouring)している同じ地域の住人なのです。複数の大国の狭間にある半島は、歴史的に難しい状況に置かれがちでした。しかし、例えば海を挟んだロンドンとパリの若者たち、週末には互いに往来し、違う言語と文化を自然体で楽しんでいる彼らの姿は、日韓の私たちに多くの示唆を与えてくれます。百聞は一見にしかず、少し話せるようになって、コロナが収束した暁には実際に韓国へ、見聞の旅に出かけましょう!